

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市大和福祉センター			検証日	令和6年7月8日	
	所管課担当名	福祉総合支援課 重層的支援・地域福祉担当		課長名	志村 裕喜	作成者名	古屋 陽祐
	指定管理者	名称	株式会社 やさしい手甲府				
		代表者	代表取締役社長 根津 宏次				
		所在地	山梨県甲府市上石田1丁目7番地14号				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野77番地				
		設置目的	市民の健康と福祉の増進を図るため、甲州市福祉センターを設置する。(甲州市福祉センター設置及び管理条例 第1条)				
		利用者	甲州市内および市外の利用者	施設管理体制	3名	開館日時間等	9:30 ~ 16:30 (日曜・祝日・月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)福祉センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること (2)福祉センター使用料徴収事務に関すること (3)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (4)その他日常業務			(5)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (6)備品等の維持、管理及び修理 (7)その他施設の管理に関すること		
自主事業	(1)施設利用者へ回数券の販売 ・市内10枚綴り2枚分無料利用券を付加 ・市外10枚綴り1枚分無料利用券を付加 ・障害者割引として10枚綴り3枚分の無料利用券を付加 (2)自動販売機の設置						

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	12,029	11,831	12,169	11,951	12,322
	利用料金収入	1,140	1,000	800	800	800
	その他収入	24	12	12	12	12
	管理運営経費	13,193	12,843	12,981	12,763	13,134
決算	指定管理料	12,029	11,831	12,169	11,951	12,322
	利用料金収入	726	310	342	484	531
	その他収入	11	105	9	8	7
	管理運営経費	13,033	11,005	12,735	15,507	15,093
収支	-267	1,241	-215	-3,064	-2,233	
施設の稼動状況		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
指標	開館日数(日)	229	210	222	246	241
	利用者数(人)	1,368	588	699	930	1,053
活動結果		・今年度より、甲州市福祉センター設置及び管理条例施行規則第4条による障害者に係る使用料の減免を開始した。(市内・山梨市在住者対象) ・貯水槽・貯湯槽洗浄など温泉機器の洗浄や点検等を適宜実施した。				

評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(1)事業の運営	3	協定書のとおり、適切に管理運営が行われている。 事業計画の利用者数の目標数に対しては、依然として新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による公衆浴場への入館自粛による影響が強く、5類に移行後も来館者の増加は見られなかったこともあり未達であるが、前年比では112%の達成率となった。
(2)施設の維持管理	3	施設設備について、定期的に保守点検を実施し機能保持に努めている。 枯葉除去や笹の伐採など細かい対応を行っている。 温泉施設の管理、清掃など厳格に実施し、レジオネラ菌の防止・衛生的な施設維持に努めている。
(3)収入支出	2	利用料金収入は昨年と比べ増収となっているが、目標金額には未達となっている。 ボイラーの自動制御機能の故障の為こまめな温度調整を実施したことにより、前年の支出を下回ったものの、物価高騰による影響から、事業計画額を超過しており、マイナス収支となっている。
(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	老朽化が見られる施設ではあるが、協定書のとおり適正に維持管理ができています。 燃料費や電気料金の高騰が大きく影響し、経費が嵩んだことは、温泉施設の性質上やむ負えない部分もあるが、利用者数については、目標数としていた1,571人は届いておらず、目標としていた利用料金収入額にも達することができなかった。

評価結果に対する施設所管課の対応	
当面の課題	・令和5年度をもって甲州市大和福祉センターの機能は廃止としている。
課題解決への対応	・引き続き、甲州市大和デイサービスセンターにて、市民のふれあいの場として施設の有効活用をして頂きたい。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
・自主事業として回数券の販売などを行っており、昨年度と比較すると利用者も若干増加したものの、利用率が低い状態に変わりは無かった。
・経費削減の努力も行われていたが、物価高騰などの影響もあり、損失が出てしまっている。利用者数が目標値に届かなかったことも要因の一つと考えられる。
・令和5年度をもって甲州市大和福祉センターの機能は廃止となり、当該施設は甲州市大和デイサービスセンターの一部として有効活用をしていくので、引き続き、甲州市大和デイサービスセンターの指定管理者にて適切に管理してもらう。